

い か つ り

ぎ よ ぎ よ う

[がいこくじん ぎのうじっしゅうせい よう きょうざい]

だいにほんすいさんかい

はじめに

この きょうざいは あなたがた がいこくの かたがたが
にほんの 「いかつり ぎょぎょう」の ぎのうじっしゅうを
うけるときに やくだつように さくせい しました。

なれない にほんごの きょうざいですが みなさんが
わかりやすいように 「いかつり ぎょぎょう」 について
やさしく せつめいして あります。

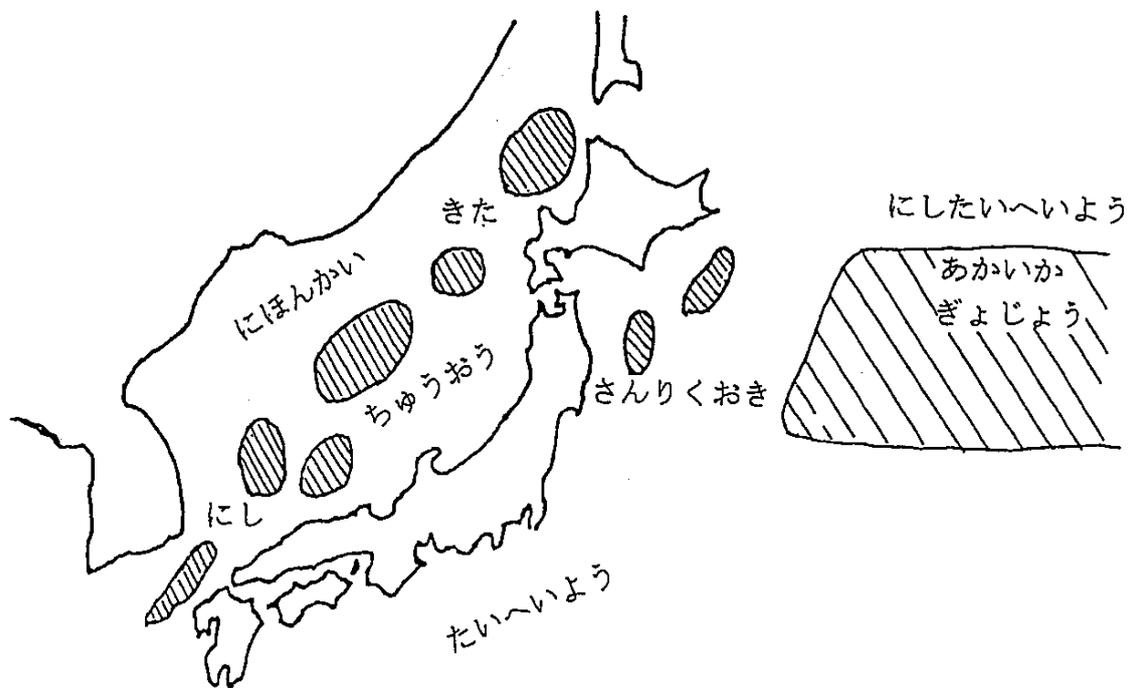
もし わからない ところが あれば ぎのうじっしゅう
しどういんや にほんじんの のりくみんに しつもんして
きそてきな ちしきを いちにちも はやく みに つけて
ください

もくじ

1. いかつりぎょぎょうの ぎょじょう
2. いかを つる ふねと そうび
3. いかの しゅるいと せいしつ
4. しゅっこうから みずあげ まで
 - (1) ぎょじょうに つくまでに おこなうこと
 - (2) ぎょじょうに ついてから おこなうこと
5. いかを つる どうぐ (ぎょぐ)
6. つった いかの しより
7. いかの りようと かこう

1. いかつりぎよぎょうの ぎよじょう

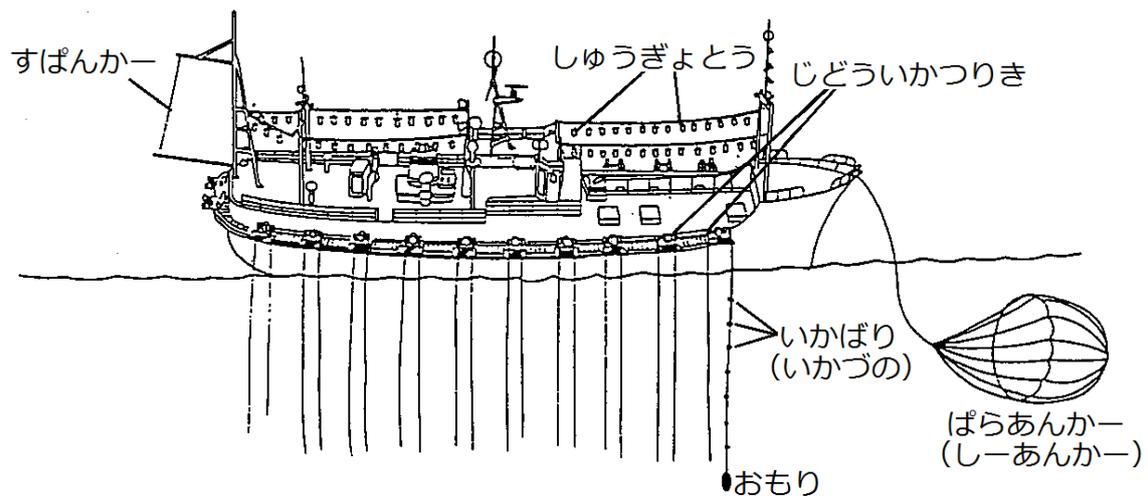
- ①するめいかの ぎよじょうは おもに にほんかいです。
- ②さんりくおきの たいへいようにも ぎよじょうが できます。
- ③はるは にほんかいの にしに ぎよじょうが できます。
- ④なつから あきは にほんかいの ちゅうおうや きたに ぎよじょうが できます。
- ⑤にしたいへいようでは なつから ふゆに あかいかの ぎよじょうが できます。



いかつりぎよぎょうの ぎよじょう

2. いかをつる ふねと そうち

ちゅうがた いかつり ぎよせんの おおきさは 30とん (30 t) から 138とん (138 t) です。

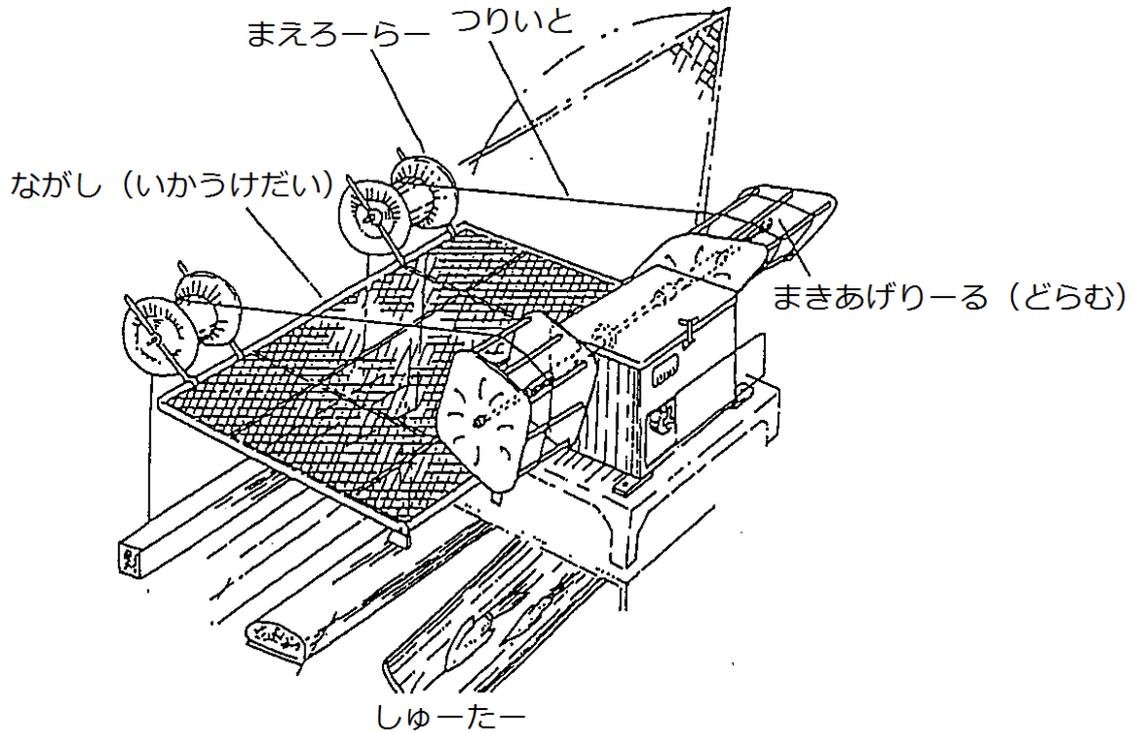


いかつり ぎよせんには つぎの そうちが ついています。

①じどういかつりき

- いかをつりあげる きかいです。130とん (130 t) の ふねで 20だいから 30だい ついています。
- いかつりきには さゆうに まきあげりーる (どらむ) が ついています。
- きかいを うごかすときは ぶりっじで まとめて おこないますが、 1だいつつ うごかすことも できます。
- ぎよぐの ふかさや まきあげの はやさは かえることが できます。

じどういかつりき



②しゅうぎょとう

- いかの むれを あつめるために つかいます。
- しゅうぎょとう 1この あかるさは 2キロわつと (2KW) から 4キロわつと (4KW) です。

③しーあんかー (ばらあんかー)

- ふねを ぎょじょうに とめておく ばらしゅーとの かたちをした いかり (あんかー) です。
- こうかいちゅうは ふねの おもて (せんしゅ) に つんであります。
- ぎょじょうに つくと ふねの おもて (せんしゅ) から かいちゅうに なげられます。

④すばんかー

- ・ふねを かぜの ほうこうに まっすぐ むけるための 「ほ」です。
- ・ふねの とも (せんび) に ついています。

⑤とうけつこ

- ・つった いかの せんどを たもつために いかを とうけつする ぎょそう (かめ) です。

3. いかの しゅるいと せいしつ

①するめいか



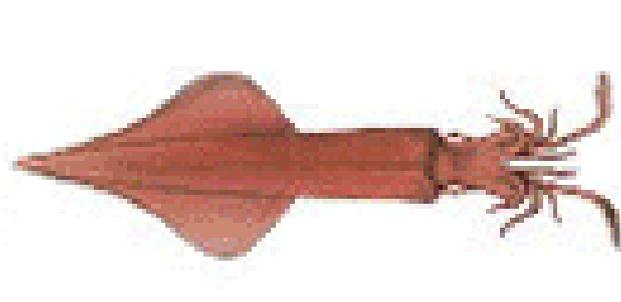
- ・にほんで いちばん たくさん とれる いかです。
- ・おもに ほっかいどう、 さんりく、 にほんかいで とれます。
- ・するめいかは ひかりに あつまる せいしつが あります。
そのため、 しゅうぎょとうを つかって おもに よる つります。
- ・ぷらんくとんや ちいさな さかなを たべて おおきくなり 1ねんで しにます。
- ・おおきいものは からだの ながさが 30センチメートル (30cm) になります。

②あかいか



- ・おもに にしたいへいようで とれます。
- ・からだが むらさきいろなので 「むらさきいか」とも いいます。

③やりいか



- ・りくに ちかい えんがんで とれます。
- ・するめいかに くらべ からだが ほそながいことが とくちょうです。

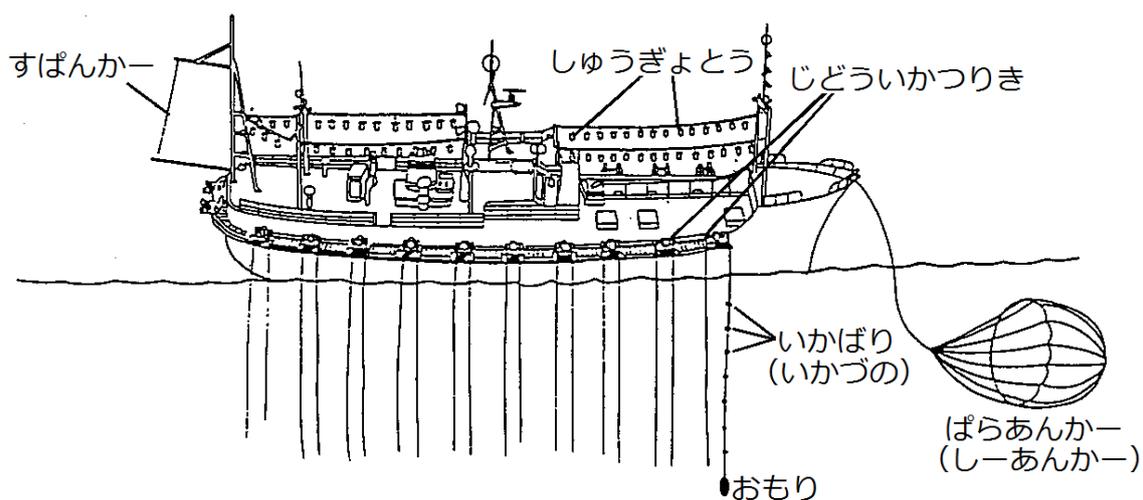
4. しゅっこうから みずあげ まで

(1) ぎょじょうに つくまでに おこなうこと

- ①いかつりき つける いかばり (いかづの) や おもり (ふんどう) を つりいとに つないで ぎょぐを つくります。
- ②つれた いかを 入れる れいとうぱんを じゅんぴします。

(2) ぎょじょうについてから おこなうこと

- ①ぎょじょうについたら、すいおんけいをつかって
かいすい(うみのみず)のおんどをはかります。
- ②ぎょぐんたんちきを つかって いかの むれを さがします。
- ③いかばり(いかづの)をおろす ふかさを きめます。
- ④ぎょじょうが きまったら ぱらあんカー(しーあんカー)を ふねの
おもて(せんしゅ)から うみに なげいれ ふねをとめます。
- ⑤すばんカーを あげて ふねを かぜに たてます。

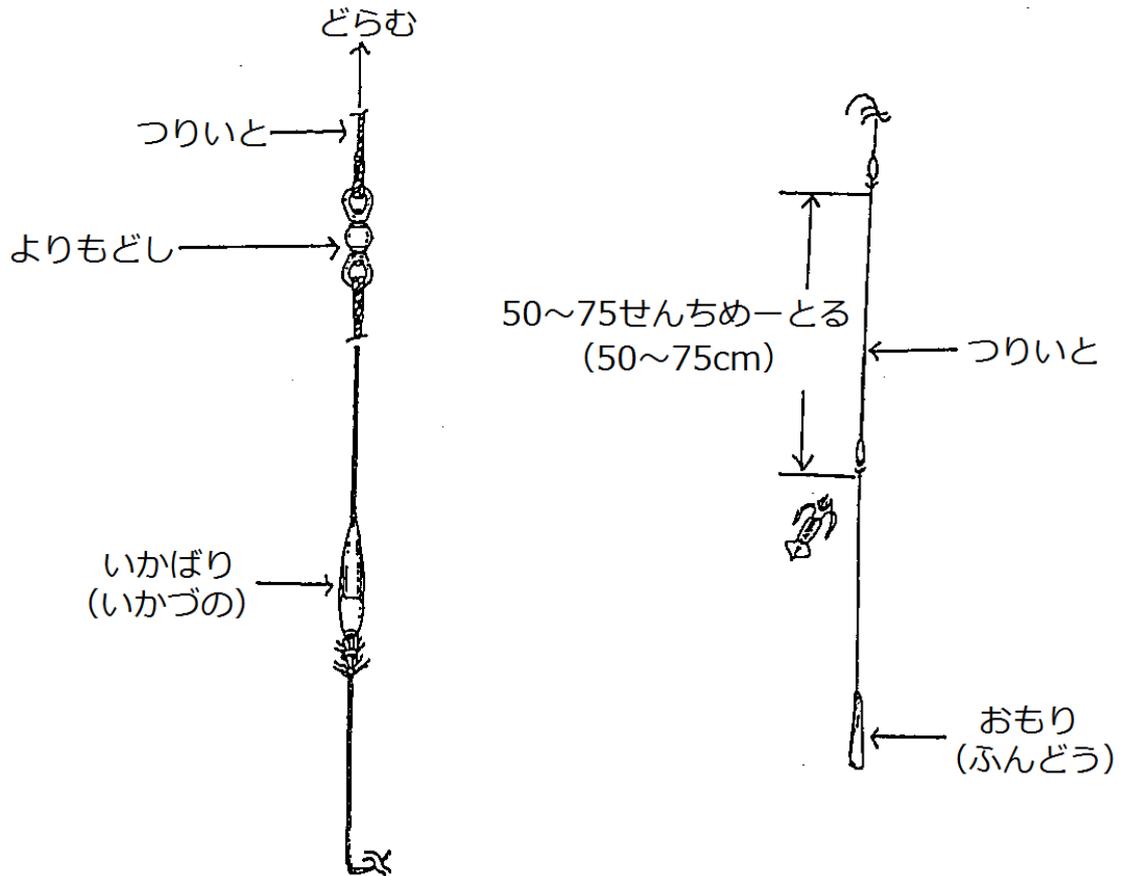


- ⑥ながし(いかうけだい)を ふねの そとがわへ たおします。
- ⑦はじめは 1だいおきに じどういかづりきを うんてんします。
- ⑧いかが つればはじめたら すべての じどういかづりきを うんてんしま
す。
- ⑨つれた いかは ながし(いかうけだい)から しゅーたーをつかって
いっかしよにあつめます。

5. いかをつる どうぐ (ぎょぐ)

① いかばり (いかづの)

- いかをつる つりばりで つりいとに たくさん つけます。



② おもり (ふんどう)

- つりいとのおもり したに つける なまりの おもりです。

③ よりもどし

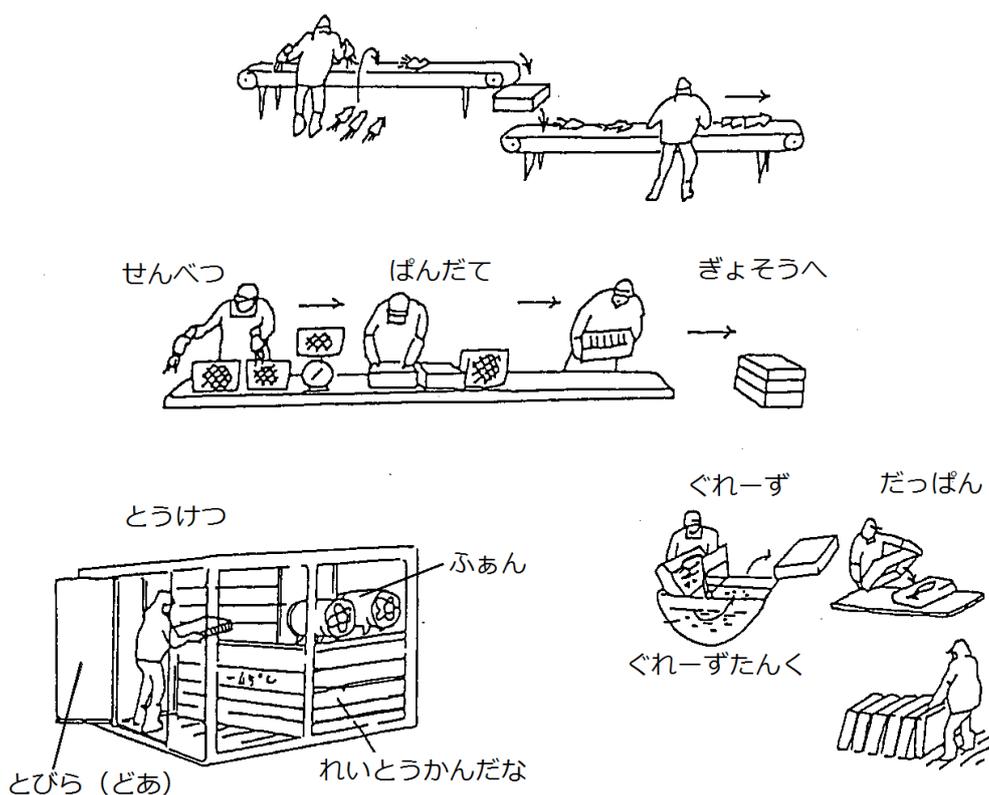
- まきあげりーる (どらむ) に ついている つりいとと ぎょぐの つりいとのおもり につける かなぐです。
- よりもどしは かいてんし つりいとが からまるのを ふせぎます。

6. つた いかの しより

①せんべつ

- つりあげた いかは しゅーたーや べるとこんべあーを つかって いっかしよに あつめます。
- あつめた いかは おなじ おおきさごとに せんべつします。
- せんべつしながら れいおうぱんに ならべます。
このことを 「ぱんだて」と いいます。

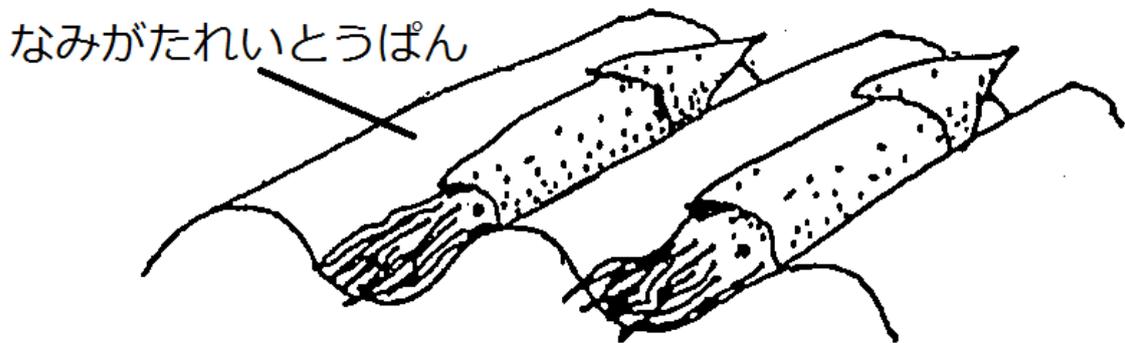
[いかの しよりさぎょう :ぶろっく どうけつ]



- れいとうぱんには 8きろぐらむ (8 k g) の いかを いれます。
- ぱんだてを おこなうときは ねだんに えいきょうするので きちんと ならべます。

②とうけつ

- とうけつには 「ぶろっくとうけつ」と 「いっぽんとうけつ」があります。
- 「ぶろっくとうけつ」は れいとうぱんで まとめて とうけつする ほうほうです。
- 「いっぽんとうけつ」は なみがたの れいとうぱんを つかって、いっぽんずつ とうけつする ほうほうです。



するめいかいっぽんとうけつ

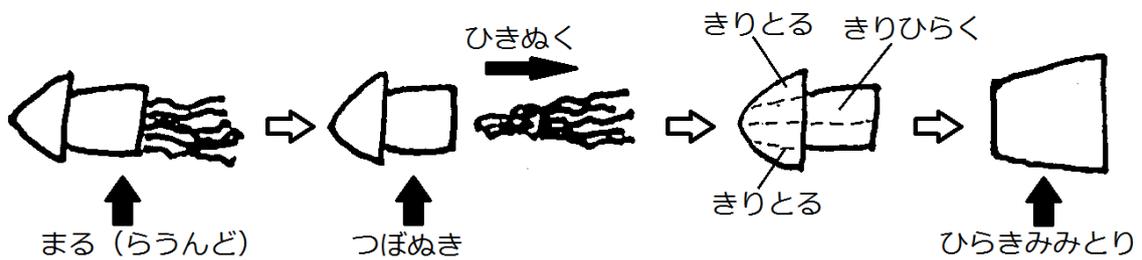
- とうけつする おんどは まいなす40ど (-40℃) から まいなす45ど (-45℃) です。
- とうけつする じかんは 5じかんから 6じかんです。

③だっぱん

- とうけつが おわった れいとういかは みずで ぐれーずして れいとうぱんから はずします。
- だっぱんが おわった れいとういかは ぎょそうに たてて ならべます。
- ぎょそうは まいなす30ど (-30℃) で ひやされています。

④あかいかの しより

- ・あかいかは ふねの うえで おもに ひらきみみとりや つぼぬきに してから どうけつ します。
- ・つぼぬきは あしと ないぞうを ひきぬいた ものです。
- ・ひらきみみとりは つぼぬきを してから どうたい (はら) を ひらき、 みみを きりとった ものです。



7. いかの りょうと かこう

①するめいか

- ・するめいかは おもに さしみなど なまで りょうされます。
- ・するめいかを ひらいて ほしするめを つくります。

②あかいか

- ・あかいかは ほとんど くんせいなどに かこうされます。